

# みずき野町内会の活動

みずき野町内会は、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めています。

- ・ 地域で見守りしあう街（福祉協力員と近隣住民の協力で）
- ・ みんなで作る安全の街（防犯パトロールなど）
- ・ 環境整備や地域づくりにサークルやボランティアの積極参加
- ・ 万が一の時に備えての自主防災組織活動

会員数  
2,088世帯  
5,447人

H26.1.1  
住民基本台帳人口

## 町内会組織



## 活動拠点



みずき野集会所



どんぐり集会所

その他：第一および第二調整池、オープンテラス、郷州小グラウンド、町内の12個の公園など活用

## サークル活動

みずき会

談話室花みずき

ティふれ

ポケットの会

育成会（こども会）

他50を超えるサークルが活動中

## ボランティア組織

町内会登録の住民ボランティア  
守谷市防犯連絡協議会みずき野支部  
民生・児童委員  
母子保健推進委員  
社会福祉協議会みずき野支部

# 町内会の行事

3月  
2月  
1月

新班長会議  
班長会議・会費集金  
どんど焼き・餅つき  
賀詞交歓会  
初詣

- ・町内会総会（春）、夏まつり、ソフトボール大会（秋）、賀詞交歓会・どんど焼き・餅つき（冬）など、四季折々に住民が交流し合えるさまざまなイベントを開催
- ・みずき野の今を伝え、町内のコミュニケーションを深めるツールとして「みずき野町内会だより」や「ボランティア通信」を発行

12月

文化財公園間伐

11月

バザー

10月

ソフトボール大会  
AED救命講習会

9月

認知症講座開催  
防災訓練  
会計監査（上期）

8月

自主防災隊再立上げ  
福祉協力員制度発足  
ビアガーデン  
クワガタ探し

7月

夏まつり

6月

AED救命講習会

5月

班長会議  
初期消火訓練

4月

町内会総会  
新旧役員引継ぎ会



カブトムシ・クワガタ探し



年4回発行の  
町内会だより



ごみ拾いも兼ねての防犯パトロール



文化財公園での間伐

ビアガーデン

どんど焼き



餅つき



賀詞交歓会



ソフトボール大会

- ・町内会だより発行（年4回）
- ・ボランティア通信発行（毎月）
- ・環境美化の日や町内清掃（毎月）
- ・防犯パトロール（毎週）

# 夏まつり

- 昨年（2013年）は第31回目で、「ふるさと創生」をテーマに開催
- 子どもから高齢者まで、みんなで手作りの夏まつり
- 近隣の幼稚園、保育園、小学校の子どもたちもイベントに参加
- 子ども向けのイベントも多く、子ども連れ家族の姿が多数見られた
- 夏まつり運営には多くのサークル・住民ボランティアが参加した



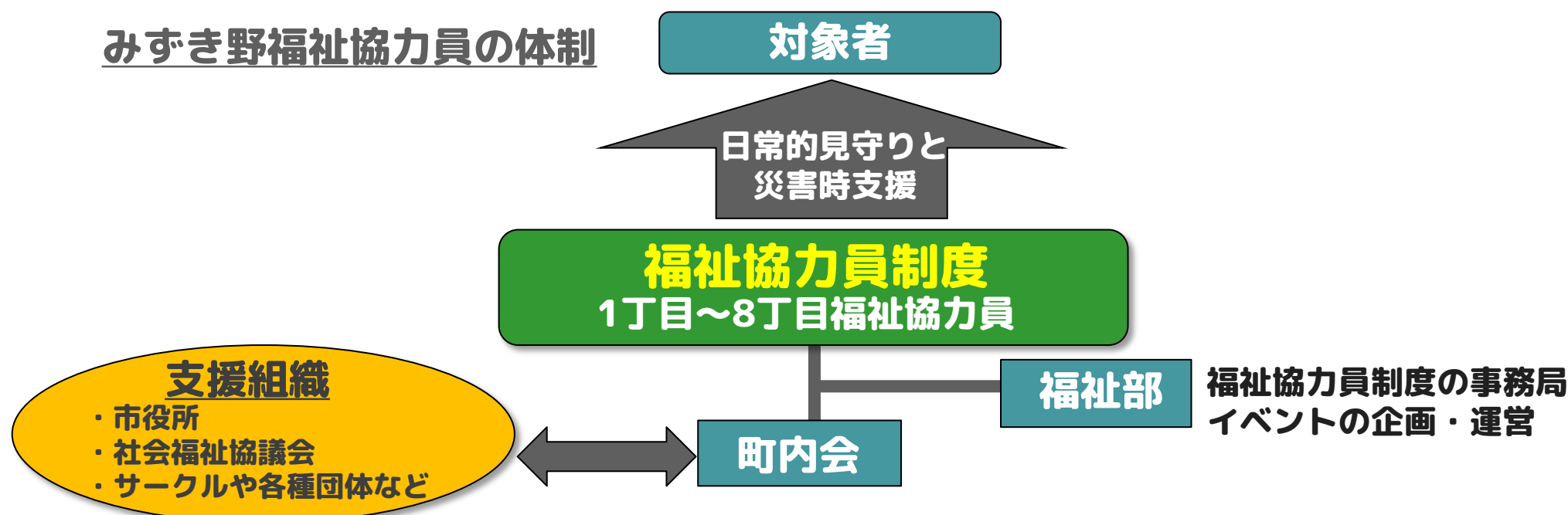
# 福祉協力員制度



- 誰もが安心して住み続けられるよう、住民が互いに見守りあう活動 -

- 「家族や友人に囲まれて住み慣れた地域に住み続けたい」というのは誰もが持つ想いですが、高齢者にとっては特に切実な問題です。誰もがみずき野に住み続けたいと思うようなまちづくりは町内会の重要課題です。
- 住み慣れた地域にいつまでも住み続けるためには地域住民を中心として見守りや介護・福祉・医療等のネットワーク作りが不可欠であるとする地域包括ケアという考え方があります。地域包括ケアの推進は国の重要施策であり、守谷市でも今後積極的に取り組んでいく計画となっています。
- みずき野地区は昨年4月、地域包括ケアのモデル事業の実施先に選ばれ、守谷市の地域包括支援センターとの協働のもと検討が開始され、全市に先駆けて事業が展開されつつあります。福祉協力員制度はこのモデル事業の中心をなすものです。
- 福祉協力員は町内会長の委嘱を受けた各丁目5～8名のボランティアからなり、民生委員を補佐して担当地区の見守り活動を行います。
- 見守りの対象者は子供から高齢者まで地域住民のすべてで、市役所に登録されている災害時要援護者も含まれます。見守り活動の結果、課題が発見された時は民生委員や地域包括支援センターに報告するなどして共に解決を図ります。また、福祉協力員は日ごろから相談できる関係作りに努めるとともに、見守り活動の結果知り得た個人情報やプライバシーの保護に最大限の配慮を行います。
- 日常の見守り活動には「向こう三軒両隣」すなわち近隣住民の方の協力が欠かせません。見て見ぬふりではなく民生委員や福祉協力員に報告する等、良いお節介を心がけましょう。

## みずき野福祉協力員の体制



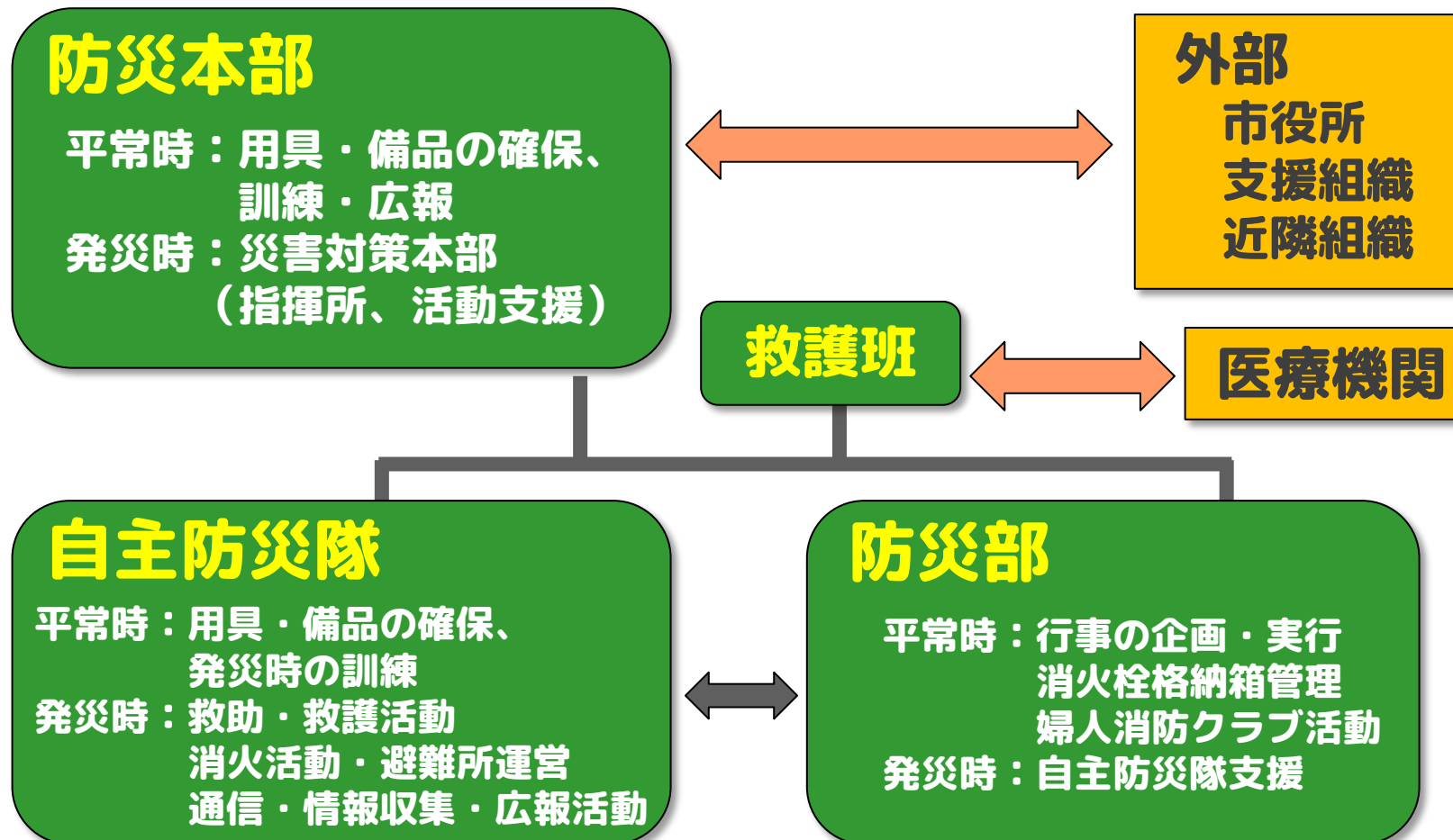


# 防災について



- ・みずき野住民の「みずからの地域はみずから守る」という意識と連帯感で、自主的に防災活動を行う組織。①防災本部、②自主防災隊、③防災部、④救護班で構成される
- ・日ごろの火災の防止（火の用心の見回り、防災知識の普及）や消火訓練、避難訓練を行う。発災時、自分の安全確保後、災害弱者の安否確認や救出に努める
- ・自主防災隊は、丁目ごとに組織され、災害応急対策活動を行う。機動力を発揮するために、隊員ボランティアの増員が不可欠（**隊員を募集しています！**）
- ・災害弱者支援のために、平常時の見守り活動を行う福祉協力員との連携も行われる

## みずき野町内会防災体制



防災部による初期消火訓練(1丁目)



# ボランティア活動

- ・住民ボランティア活動は、三つの分野（町内環境整備、自主防災組織、夏まつり運営）でスタート。今後は、町内会部活動支援や福祉活動支援も！
- ・現在、200名のボランティア登録。女性や団塊世代に参加してもらい、もっともっと人数や支援分野を増やしていくことが大切。
- ・ボランティア活動は、リタイア世代の地域デビューや住民同士のコミュニケーションを深めることにも役立っている
- ・ボランティア活動の内容は「ボランティア通信」で随時紹介

## 活動分野

町内環境  
整備

自主防災  
組織

夏まつり  
運営

町内会  
部活動支援

福祉活動  
支援



“消火栓の位置確認”と“ホース格納箱の点検”



児童引き渡し訓練@防災の日



どんぐり公園での芝張り



張り終えた芝を前に



下草刈り



文化財公園の下草刈りに  
集まった7丁目の人たち



おはよう



朝のあいさつ運動スタート



文化財公園での間伐



豚汁サービスは体も  
心も温めてくれます